

学校名	川口市立前川小学校
所在地	川口市本前川2丁目11番1号
電話	048-265-3375

1 本校の概要

「思いやりの心を持ち 進んで学ぶ子 元気な子の育成」を教育目標とし、生き生きと学び合う児童を育成できるよう学校課題研究を続けている。

又、コミュニティースクールとして、地域や保護者と一体となって、教育活動に取り組んでいる。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

「もっと知りたい」「新しいことをやってみたい」といった気持ちが自然と湧いてくるような主体性を養うためには、児童一人一人がたくさんの本の中から、自分の目と頭、思考や目的に応じて一冊の本を選ぶという経験を繰り返すことが必要だと考える。

(2) 実践の概要

ア 子供の活動を生かした学校図書館経営

①本を選ぶ機会を増やすため、来館者数や貸出冊数を増やす工夫

図書委員がお勧めの本を選び、その本の内容や魅力を分かりやすく伝えるため、本の帯を作成し、添付した状態で展示・貸出を行っている。

②蔵書の充実

選書の際には、リクエストを募り、児童が読みたい本を積極的に購入したり、シリーズ本や本校に足りない社会科部門の充実を図ったりした。



【①関連】図書委員が作成した本の帯

イ 読書指導

「読書による人づくり推進事業」を活用し、学年や発達の段階にあった本を一人一冊読めるように学級文庫を整えた。委員会のある月毎に、各学級の学級文

庫の内容を変え、様々な種類の本を読めるよう工夫した。

ウ AT(アシスタントティーチャー)としての学校図書館司書

本校では、毎週月・水・木曜日に学校図書館司書が勤務し、特に以下の点でATとして活躍している。

- ①図書館開きのオリエンテーション
- ②図書委員会の活動補助



【①関連】学校図書館司書によるオリエンテーション

3 成果と課題

(1) 成果

ア 子供たちの活動を生かした実践により、貸出冊数が増加したり、新刊本のシリーズ別本が貸し出されるようになったりした。

イ 木曜日の朝読書では、学級文庫を利用した読書が促進された。

(2) 課題

ア 貸出冊数のさらなる増加

今年度掲げた、貸出冊数2割アップの目標には、届かなかった。次年度は、目標を達成できるよう、積極的なイベントの企画や実施などの工夫が必要である。

イ 学校図書館司書のさらなる活躍

利用しやすい学校図書館を目指し、蔵書の選別を行えるよう、廃棄基準を明確にする必要がある。学校図書館司書とともに、本校の廃棄基準を作成する。

(3) おわりに

コロナ禍において、教育活動が制限される中だからこそ、学校図書館を活用する機会が増えた一年だった。静かに過ごすため、情報を得るため等、自らの一冊を選ぶ経験を重ねられるよう、足を運びたくない学校図書館づくりを今後も続けていきたい。